

平成27年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 貴志南小学校
作成日	平成28年3月4日

1 教育目標

21世紀に生きる生きる望ましい人間像をめざし、一人ひとりの子どもの主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子どもの育成を目指す。 —たくましい子、やさしい子、考える子—

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々にも成長を見守ってもらえるよう、交流活動をさかんに。 ・学校に対して、保護者や地域の協力が不可欠。 ・HPの活用と充実 ・育友会と連携し、保護者に活動の理解を 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や物があふれる時代だからこそ、人権や命・物を大切に教育を。 ・人同士がつながり、相互扶助の精神が大切。 ・美しいものや自然に感動する心を育みたい。 ・正しい判断力・行動力を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業だけで十分な学力が付き、学習習慣がつく取り組みを。 ・主体性・表現力も重要。つ子どもとの対話など家庭の教育力も。 ・基礎学力の向上、自己表現力の向上、自ら情報収集し学ぼうとする力をつける。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日は十分にあり、集会発表などの案内もきちんとなされ開かれた環境を感じる。 ・育友会・センター事業等に積極的に参加してくれる先生方が増えた。 ・地元の方の協力で食育にも力を入れてくれている。 ・HPによる行事予定など閲覧しやすく、学校に行きやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会では初めての取組があった。地域の活動参加は今後も続けて。 ・体育館で2学年合同授業参観・ありがとうコンサートは異学年を見比べることで成長を実感する機会になった。 ・体力づくり(バスケット・陸上)など、練習の成果を發揮する場が、子どもの励みになっている。 ・ペア活動が互いを思いやる心の成長につながっている。 ・体験学習等充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・居残り学習の時間をとっていることで学力の底上げにつながっている。 ・漢字博士試験は勉強の目標をもつ良い取組。 ・子ども同士で共に考え、学び合う授業が増えていてとても良い。 ・「九九階段」「いろは階段」モニターの「物知りクイズ」など何気なく学習できる取組が素敵。 ・自由課題の宿題は子どもは楽しく取り組んでいた。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事がうまく配置されメリハリがあるので子どもたちの楽しさにつながっている。 ・学校は交流の機会を設けて、家庭や地域との連携を深めるための行事に取り組んでくれている。 ・校外へ出て地域の方とのふれあいの学習が子どもたちに好評のようだ。 ・少数の「楽しく思えない」子どもの声に耳を傾けて。 ・保護者と先生のコミュニケーションはとれているが、肝心の保護者と子どものコミュニケーションが少ないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめはいけない」と自覚できているのは日頃の指導が行き届いているからだろう。 ・親を感じるより、子どもはよく挨拶できていることがアンケートから分かった。 ・挨拶は社会に出てからも大切。校長先生や児童会が取り組んでくれてうれしく思う。 ・「誰に対しても挨拶が…」が下がっているのは、大人の影響を映しているのでは。保護者同士コミュニケーションできる場を増やしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎日の勉強がわかる」と言う子が増えたのは喜ばしい。少数の否定回答児童への対応を。 ・アンケートの「毎日の勉強がわかる」の設定では、各教科等での子どもの実態がわかりづらい。 ・学ぶことが面白くなる工夫が見られ学力面の向上が見受けられる。 ・小グループ学習の導入がよい。 ・一人一人を大事に見ていただけている学校には安心感がある。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・課外活動が盛んになるのは喜ばしいが、先生方の負担が心配。保護者や外部ボランティアの活用も考えては。 ・陸上大会の参加者が少ないのは残念。 ・今後も地域と触れ合う、社会を見ることはどんどん実施してほしい。 ・参観日は母親が多いので、土曜・日曜参観を増やすと父親・祖父母も参加できるかも。 ・今後も育友会行事への先生方の積極的な参加をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野の職業の方々との出会いを。 ・市の音楽会への参加は来年度も続けて。 ・「いじめ」と「いたずら」の区別ができる子に。 ・子どものためにも正しい言葉遣いを大人は心がけたい。 ・親が見本となり、見守り隊など世話になっている方に感謝を伝えていきたい。 ・異学年交流などの取組は今後も。 ・体験を通しての学習のより一層の充実。 ・いじめアンケートを第三者機関を使って把握し、調査結果を公表しては？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定や九九階段等の取組は今後も。 ・ALTの授業を増やし、世界に興味を持つ子になってほしい。 ・同じ学年でも宿題の出し方が違うので、特に低学年では統一を。 ・学習面での問題も個人面談以外で情報が欲しい。 ・漢字博士に加え、計算分野でも何か励みになる取組があれば。 ・ビオトープの活用。

3 その他のご意見

◆集団登校が、個人個人になっている。 ◆ネットによる情報過多の一方、誤った使い方による取り返しがつかない事案が心配。よりSNS等の学習を望む。 ◆一輪車をはじめ、せっかくの道具が活用されていないのでは？ ◆臭うトイレの改善、エアコンの設置を願う。 ◆ハード・ソフトの両面から「こんな学校に」という子どもの声把握できるようなアンケートを実施してみても？ ◆育友会活動がどんな活動をしているのか、まだまだ認知されていないようなので、PR・広報が必要。 ◆校舎・運動場の整備等、育友会とより連携し、改善・改修を。